

令和2年度

自己評価表

日本動物専門学校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和2年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。学園名物の第1回就職出陣式、第1回合格祝賀会開催。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開設。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。

- 2005年 京都IT会計法律専門学校、大阪IT会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。
- 2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物21開校。全国IT簿記選手権大会にFE部門を新設。専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。
- 2007年 東京IT会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。
- 2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に34名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。
- 2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に36名現役合格等の合格実績をあげる。
- 2010年 第30回記念合格祝賀会を盛大に開催。国税専門官試験26年連続現役合格達成。
- 2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。
- 2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援制度の対象校として認定される。
- 公認会計士試験現役合格34名、税理士試験現役合格6名
 国税専門官試験36年連続現役合格
 法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来15年連続現役合格
 経済産業省高度情報技術者試験（データベース・情報処理安全確保支援士）現役合格24名
 総合旅行業務取扱管理者試験現役合格40名
 国内旅行業務取扱管理者試験現役合格107名
 宅地建物取引士試験 入学後半年合格25名 現役合格30名
 国家公務員総合職・一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,185名、
 公務員初級等現役合格5,767名／警察官・消防官・自衛官現役合格3,784名／等
 （'21年3月専門課程卒業生／1次筆記合格のべ）
 民間企業就職率98.21%、上場企業就職率37.70%（動物分野を除く）
 （'21年3月専門課程卒業生）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。

本学の特色は、開校時以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入していること。また動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け動物業界のみならず異業種企業等に就職していることである。

3. 評価項目の達成および取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ.学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
ハ.理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
ニ.各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。また、開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業等への就職実績が両立している。なお、「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ.運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ.人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
ニ.教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
ホ.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
ヘ.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。なお、「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会を令和元年度より立ち上げ、今後とも改善を行っていく。

学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
ロ.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
ハ.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
ニ.キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
ホ.関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
ヘ.授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
ト.成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
チ.資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
リ.人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
ヌ.職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、動物看護学科3年制（令和4年度）の設置に向けてのカリキュラムを作成する。

② 今後の改善方策

愛玩動物看護師法の施行が行われるため、動物看護学科3年制（令和4年度）の設置に向けてのシラバスの作成、年間スケジュール作成を行い、カリキュラムを精査する。

③ 特記事項

本学の授業はゼミ学習方式を採り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。教育課程編成委員会での意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っており、学生による授業評価アンケートを実施している。また、令和元年度よりGPA算定をするため、システムを改修し導入した。GPAの算定については、ホームページにも公開している。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、1年生対象のインターンシップは3月に延期した。「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。

コロナ禍の影響による休校があったが、オンライン授業および夏休みの補講により、また1月の緊急事態宣言時はオンライン授業により全ての授業を実施することができた。また、オンライン授業についてはZoomを利用した。

令和2年度における学内就職セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止したが、オンラインにより実施した。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ロ.資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
ハ.退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

コース毎に目標とする資格を明確にし、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立てゼミ学習で授業を進めている結果が成果となりあらわれている。

担任に話すことが難しい場合に相談できるように学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し、長期欠席の学生が出ないように努力している。

令和2年度における進路決定のための就職・公務員ガイダンス、就職出陣式、合格祝賀会については新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

令和2年度における学内就職セミナーについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止したが、オンラインにより実施した。

「ゼミ学習」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。

1年生対象のインターンシップは3月に延期した。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ.学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ.学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ.学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ.課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
ヘ.学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
ト.保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した体育祭、学園祭、球技大会、進路決定のための就職・公務員ガイダンスについては、実施できる方法を検討する。

② 今後の改善方策

体育祭、学園祭、球技大会、進路決定のための就職・公務員ガイダンスについては、学校全体での同時実施ではなく、クラス単位での実施を検討する。クラブ活動については、大会出場などは避けるが、練習は時間短縮、人数制限を行うことで実施することを検討する。コロナ禍であっても、時期の変更や規模の縮小などを考慮しながら実施していきたい。

③ 特記事項

学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これによりペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度は、貸与ではなく給付である。

保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっており、匿名での電話相談にも応じている。

新型コロナウイルス対策として、登校時に校舎入り口で検温および消毒をして、授業開始前には体調チェックリストの記入、授業終了後には机イス等の消毒をして清掃チェックリストに記入している。また、教室の座席やエレベーターの人数制限等ソーシャルディスタンスを保つようにしている。

家庭内にWi-Fi環境が整っていない学生に対しては、モバイルルータを無料で貸出し、オンライン授業ができる環境を整えた。

今年度、新型コロナウイルス感染症対策助成事業として日本学生支援機構から助成金の交付があった。今年度のクラブ活動は、活動可能期間内でのみ縮小化して行い、自粛期間では活動を停止している。

令和2年度における学内就職セミナー、体育祭、学園祭、球技大会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

1年生対象のインターンシップは3月に延期した。

令和2年度における進路決定のための就職・公務員ガイダンスについては新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
ロ.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
ハ.防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・作成し、対応する。

愛玩動物看護師法の政省令に示される、養成所の指定基準を満たさなければならない。

② 今後の改善方策

災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・作成し、対応する。法令に準拠して、見直していく。

愛玩動物看護師法の政省令に示される、養成所の指定基準を満たすための施設・設備の整備を順次行っていく。

ペットイベントへの参加、ドッグショーなどの見学、犬の訓練施設見学、動物施設等の学外実習については、学校全体での同時実施ではなく、クラス単位での実施や人数制限を行うことで実施することを検討する。コロナ禍であっても、参加人数などを考慮しながら実施していきたい。

③ 特記事項

インターンシップ受け入れ先から評価され、就職内定へとつながっている。

防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に避難訓練等を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。

X線装置を専用室で防護ボックス内に設置しており、定期的に漏洩検査を行っている。

校内のインターネット環境を整備して、オンライン授業を行った。

令和2年度におけるペットイベントへの参加、ドッグショーなどの見学、犬の訓練施設見学、動物施設等の学外実習、高齢者施設でのドッグセラピー活動、海外ペット研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

1年生対象のインターンシップは3月に延期した。

(7). 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
ロ.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
ハ.学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学選考のうち、AO入学に関しては、本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。

就職実績は、本人の了承を得て、企業名、氏名、出身校を明示することにより信用のある内容となっている。

本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているため、従来よりスムーズに情報が入手できる。また、ブログ、LINE、Twitter、Facebook、YouTube、Instagram を利用した情報提供を行っている。

本学は法人単位での財務情報の公開体制を採っており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

今年度より、オンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っている。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
ロ.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
ハ.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
ニ.自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

② 今後の改善方策

定期的に情報セキュリティ研修を実施し、継続する必要がある。

③ 特記事項

法令遵守推進管理者をおき、法令遵守規程に基づき法令遵守の推進を図っている。また例年、東外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度はオンラインで研修を受講した。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た上で、個人情報を取り扱っている。

自己評価表については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果もホームページ上に公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
ロ.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
ハ.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

① 課題

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。

② 今後の改善方策

学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施し、地域との連携をさらに強化する。

③ 記事項

獣医師向けの勉強会の開催場所の提供を校内で行った。また、定期的に行っている近隣の清掃活動は、今後も絶えることなく継続していく。こうした活動を教員、学生と共に地域住民と交流を図ることにより、社会貢献につなげていく。

令和2年度における高円寺フェス、犬のしつけ方教室など、地元開催イベントについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

令和2年度における全国高等学校IT・簿記選手権大会については、2020東京オリンピック・パラリンピック開催予定であったため中止した。令和2年度における高齢者施設でのドッグセラピー活動、学園祭は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。